

# JR鹿児島シティ 2021年度営業実績

JR鹿児島シティの2021年度(2021年4月～2022年3月)の営業概況をご報告いたします。

## 1. 売上高 **232億円** (前年比108.4%)

〈施設内訳〉

①アミュプラザ鹿児島	売上高:209億円(前年比107.7%)
②さつまち鹿児島中央駅	売上高: 23億円(前年比115.4%)

## 2. 入館者数 **1,434万人** (前年比118.9%)

※アミュプラザ鹿児島のみ

### 【概況】

2021年度は、引き続き、新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けながらも、年間実績としては売上高・入館者数共に前年を上回る結果となりました。中でもGW、夏休み、年明けの繁忙期には感染拡大第4-6波が重なり、大打撃を受けた時期となりましたが、感染対策を整えたうえでの6月初開催「パンタステック!!(パンイベント)」や隣のLi-Ka1920様のグランドオープン回遊効果、10月から12月にかけての地元企業様と連携した様々な集客イベント実施、春・秋に実施した1-4Fの改装効果、12月上映「呪術廻戦」映画作品好調、2月(2年ぶり実施)「ちょこぱく」等の実施により、入館者数・売上ともに回復傾向となりました。

また、郊外の商業施設やイベント会場での移動販売「AMU WAGON」は、2021年度13回実施に至り、“お客さまのもとへAMUを届けに会いに行く”というコンセプトのもと、自社目標12回を上回り達成することができました。さらに、自社公式Instagramのフォロワー数は1月に2.3万人を達成し、自社運営のSNS(LINE、Instagram、twitter、Facebook)フォロワー数は合計約86,000人となり、SNS戦略強化においては自社目標80,000人を大きく上回る実績を残すことができました。

2022年度は「いつもあなたと@AMU」をテーマに掲げ、お客さまとずっと身近につながりたい、そして、もっと多くのお客さまにお越しいただきたい、という想いでプロモーション展開をしております。また、2023年春には地元密着型商業施設を開発予定とした「西口オフィス複合ビル」開業を控えております。引き続き、安心安全な館運営を基本に、感染対策を十分に備えまして今後もみなさまのお越しをお待ちいたしております。